贈りたい 本 大賞

－大切な人に贈りたい１冊－

大賞受賞作

令和８年度　やまなし読書活動促進事業

音楽や映画は、大勢の人と一緒に楽しむことができます。テレビもスポーツ観戦も、友だちと一緒に楽しむことができます。ところが、読書だけは、一人だけですることです。それが読書の良さでもありますが、一人で読んでいたのでは、ほんとうに本を分かったことになるでしょうか。大好きなあの人は、この本を読んだらどんなことを考えるのだろう。同じ本を読んでもらいたい。そうすれば、その本のことが深くわかるだけでなく、その人のことがもっと分かり合えるようになるのではないでしょうか。

山梨県立図書館　　館長　　金田一秀穂

わたしと 本と あなたと

山梨県立図書館

〒400-0024　山梨県甲府市北口２丁目8-1
TEL 055-255-1040 / FAX 055-255-1042
https://www.lib.pref.yamanashi.jp/

令和８年１０月３０日発行

こうちのおばあちゃんへ

幼児から中学生の部

大西　尊也さん（増穂小学校）

『ふじさんにっぽんいち！』
峯村　温ほか／写真　佐野　充／監修
ひさかたチャイルド



こうちけんにすんでいるぼくのおばあちゃんは、にっぽんいちのふじ山が大すきです。山なしにあそびにきたときに天気がわるくてふじ山が見えず、ざんねんなこともあります。だからこの本をいっしょに読んで、春夏あきふゆのいろいろなきせつのふじ山を見ながら、たのしいすてきなじかんをすごしてよろこんでほしいです。

父へ

高校生の部

仙洞田　豊司さん（甲府第一高等学校）

『旅する練習』　乗代　雄介／著　講談社



サッカー少女の亜美と小説家の叔父は、鹿島アントラーズの本拠地を目指して徒歩の旅に出る。高校に入って父と話すことが少なくなった僕にとって、それはあまりにも眩しくて、羨ましい光景だった。昔はあんなに一緒に出かけていたのに、今では顔を合わせることすら気まずい。お父さん、また一緒に釣りに行こうね。

小学校６年生の娘へ

一般の部

雨宮　菜月さん

『それしかないわけないでしょう』
ヨシタケ　シンスケ／著　白泉社



「こうしなければならない」「普通はこうだ」と決めつけず、もっと自由でいいんだよと教えてくれる一冊です。これから中学生になり、たくさんの選択や出会いを経験するでしょう。答えは一つではありません。自分らしく考え、迷ったり間違えたりしながらも、自分の道を選んでいってほしい。そんな願いを込めて贈ります。

贈りたい本大賞 優秀賞

●広瀬 楓（八幡小学校）「らいねん１ねんせいになるいとこへ」
『しょうがっこうがだいすき』（うい／作 えがしら みちこ／絵 学研プラス）
●小形 周平（田富中学校）「父へ」『待ってろ！甲子園』（日比野 恭三／著 ポプラ社）
●サトウ マリア（田富中学校）「ちがう国にいる弟へ」『あなたの国では』（小手鞠 るい／著 さ・え・ら書房）
●藤巻 来弥（田富中学校）「おかあさんへ」
『うちのおかあちゃん』（小手鞠 るい／作 こしだ ミカ／絵 偕成社）
●中込 佑梨（押原中学校）「妹へ」
『ぐるんぱのようちえん』（西内 ミナミ／さく 堀内 誠一／え 福音館書店）
●伊東 柑奈（押原中学校）「友だちへ」『あと少し、もう少し』（瀬尾 まいこ／著 新潮社）
●市川 日南子（甲陵中学校）「おばあちゃんへ」『わたしと小鳥とすずと』（金子 みすゞ／著 JULA 出版局）
●前橋 菜々乃（甲陵中学校）「妹へ」『透明なルール』（佐藤 いつこ／著 KADOKAWA）
●米山 友美菜（甲府第一高等学校）「優しすぎる私の友達へ」
『ほんとうの花を見せにきた』（桜庭 一樹／著 文藝春秋）
●川上 晴賀（甲府東高等学校）「もう会えない先生へ」
『三年二組、みんなよい子です！』（くすのき しげのり／作 下平 けーすけ／絵 講談社）
●佐々木 柊人（甲府東高等学校）「自分のクラスに来てくれた留学生へ」
『星の王子さま』（サン＝テグジュペリ／作 岩波書店）
●田島 健太郎（甲府工業高等学校）「友達へ」『星の王子さま』（サン テグジュペリ／著 集英社）
●成田 知遼（甲府工業高等学校）「親友へ」『かがみの孤城』（辻村 深月／著 ポプラ社）
●宮部 紗枝（甲府工業高等学校）「今に悩む妹へ」
『ゾウのたび』（椋 鳩十／作 岡村 紀子／絵 あすなろ書房）
●鈴木 理響（笛吹高等学校）「お母さんへ」『２０歳のソウル』（中井 由梨子／著 幻冬舎）
●鶴田 爽子（日川高等学校）「高校生をはじめとする同世代のみなさんへ」
『おおばっちゃんちにまたきてたんせ』（秋山 とも子／さく 福音館書店）
●五味 佳凜（山梨高等学校）「友達へ」『か「」く「」し「」ご「」と「』（住野 よる／著 新潮社）
●市川 結士（都留高等学校）「祖父（じぃ）へ」『奇跡のリンゴ』（石川 拓治／著 幻冬舎）
●萱沼 心（都留高等学校）「友だちへ」『お探し物は図書室まで』（青山 美智子／著 ポプラ社）
●渡邉 咲菜（都留高等学校）「チェロを弾いていたいとこへ」『風に恋う』（額賀 澪／著 文藝春秋）
●大神田 かりん（上野原高等学校）「弟へ」『どろぼうがっこう』（かこ さとし／作・絵 偕成社）
●望月 叶王（甲府商業高等学校）「友人へ」
『あなたを閉じこめる「ずるい言葉」』（森山 至貴／著 WAVE 出版）
●杉田 楓華（済美平成中等教育学校）「今、自分の居場所がないと感じている人へ」
『夜カフェ』（倉橋 燿子／作 講談社）
●岡田 聖亜（一般）「高校の同級生へ」『傲慢と善良』（辻村 深月／著 朝日新聞出版）
●五味 千紘（一般）「お母さんへ」『コブタの気持ちもわかってよ』（小泉 吉宏／著 幻冬舎）
●里吉 優太郎（一般）「部活をがんばるサッカー部員へ」
『サッカーマティクス』（デイヴィッド・サンプター／著 光文社）
●広瀬 沙希（一般）「３人の我が子へ」『きみのことがだいすき』（いぬい さえこ／さくえ パイインターナショナル）
●正岡 和子（一般）「子育てを頑張るあなたへ」『大丈夫、私を生きる。』（山川 記代香／著 集英社）
●森井 啓之（一般）「「役に立たなきゃ」と自分を急かすあなたへ」『フレデリック』（レオ レオニ／作 好学社）

学校賞

金田一秀穂館長賞　山梨市立八幡小学校

上野原市立島田小学校、甲斐市立玉幡中学校、中央市立田富中学校、

北杜市立甲陵中学校、身延町立身延中学校、

富士河口湖町立河口湖北中学校、山梨県立甲府工業高等学校、

山梨県立都留高等学校、甲府市立甲府商業高等学校



大切な人に本を贈ることは、あなたの“想い”を伝えること。

本は、あなたと贈られた人との心を通い合わせ、絆を深めます。

愛する人へ、大切な家族へ、かけがえのない友へ……。

もしあなたが様々な場面で、大切な人に本を贈るとしたら、

どんな本を、どのような理由で選んで贈りますか？

応募総数５，５３９点。みなさまからいただいた、たくさんの“想い”。

さまざまな“想い”を、ありがとうございました。